

金沢市立高岡中学校 英語科 1年生

活動名 ちょこたん 「ヨミタン活動」

目的

英語が使えるかどうかは「単語力」が鍵となる。義務教育機関で学ぶ単語数は上限2500語に及び、小学校での700語程度を既習とした上で中学校での学習がすすめられている。読んで意味がわかる程度はその半数程度の1100語で、書けるレベルまで求められているのは1100語である。

いずれにせよ英語学習において「音読できる」は必須であり、すべての活動の根幹にあたると言えよう。それに関わらず、私が実施したアンケートによると音読に不安を感じている生徒がかなりいた。これを受けて、すべての生徒が自信をもって音読できることを目途に、教科書の「音読」に特化した探究的活動「ヨミタン活動」を授業に組み入れている。

内容

・はじめに

すべての単元には「まとまった英文」と「まとまった対話文」が含まれている。この学習時に「ヨミタン活動」をしている。

・「まとまった英文」のヨミタン活動

①新出単語・本文（まとまった英文）の練習を一斉で行う

※自作スライドおよびデジタル教科書を使用

②ヨミタン活動 15分間それぞれの方法で練習

練習は次の中から選ぶ 自分1人で 友だちと教え合っ 先生と一緒に（4人ほどで）

③授業の最後に30秒で読めるか一斉でタイムトライアル

・「まとまった対話文」のヨミタン活動

①新出単語・本文（まとまった英文）の練習を一斉で行う

※自作スライドおよびデジタル教科書を使用

②ヨミタン活動 15分間それぞれの方法で練習

i スラスラ読めるまでひとりで練習する

ii 自由に歩き回って

教科書右上にあるチェックボックスにサインを書いてもらう

iii 先生と一緒に読む 制限時間30秒以内 教科書右上の教科書マークにサインをもらう
達成したら「ミニ先生」とし他の生徒と読む

iv 後半5分 暗記して先生と演4人（男子2人・女子2人）とペアになって練習する

③本時の活動の振り返りを行う

〈課題〉	ミニ先生	ゴール！
めあて	↑	
手順 ①スラスラ読む（どちらかのパートでOK）	男女4人	
②4回（男子2人・女子2人）ペアを代えて練習 教科書にサインしてもらう	スラスラ読み	↑
③	ネーム <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> マグネット	

本時ちょっと金沢探究スタイル
 本時まるごと金沢探究スタイル
 単元まるごと金沢探究スタイル

金沢市立高岡中学校

学年	中学校2年（英語科）
本時のねらい	日本食を紹介しよう
探究的に学ぶ子どもの姿	生徒によって、教科書、オクリンクプラスで友達のマッピング、自分で音声録音したもの、クラスルームにアップされた教師作成の手本を選びながら表現力を高めた。
探究的な学びを進めるための教師の支援	生徒が英作文を書くために必要なツールをいくつか準備し、選ぶことを可能にした。



マッピングしたものをオクリンクプラスで提出。他の生徒が書いたものを見ながら、さらに自分の思考を広げ、深める。



前時に吹き込んだ自分のスピーチを聞いて、本時にいかす

クラスルームにアップされた資料を参考に

友達と相談しながら